

1.ご契約情報をご入力ください

回路契約申込書別紙 (契約容量計算書)

※ 入力方法 :プルダウンからお選びください :入力ください

1. ご契約情報を入力ください。

①	お客さま名(ご契約名義)	<input type="text"/>
②	ご使用場所(住所)	<input type="text"/>

① お客さま名(ご契約名義) : お申込みいただく電気のご契約名義をご入力ください。

② ご使用場所(住所) : ご使用いただく電気のご契約住所をご入力ください。

**※①②のご入力がない場合や登録内容に相違がある場合には、
お申込みをご返却させていただきますので、お間違いのないようご入力ください。**

2.回路内訳をご入力ください(一般回路)

■一般回路(单相100V、20A回路)

業種	平均負荷設備容量	回路数	容量
①	VA	③	④ VA ... ①
	VA		VA ... ②
	VA		VA ... ③

- ① 業種：お申込みいただくご契約業種をご選択ください。
※住宅と商店など、複数業種でご利用いただく場合は、業種ごとにご入力ください。
- ② 平均負荷設備容量：①の業種をご選択いただくと自動で表示されます。
- ③ 回路数：一般回路(单相100V・20A回路)に該当する回路数をご入力ください。
※予備回路は算定対象外となりますので、回路数に含みません。
- ④ 容量：②平均負荷設備容量と回路数から算定された容量が自動で表示されます。

業種一覧

業種

- ①
- 住宅
- アパート・寮
- 商店
- 事務所
- 旅館・飲食店
- 劇場・娯楽場
- 学校・病院
- その他

複数業種入力例：回路数10 住宅8回路 商店2回路の場合

業種	平均負荷設備容量	回路数	容量
住宅	770 VA	8	6160 VA ... ①
商店	930 VA	2	1860 VA ... ②

3.回路内訳をご入力ください(特殊回路)

単相100V・20A回路以外は特殊回路となります。実際の負荷設備容量に併せてご入力ください。特殊回路をお申込みの際には、負荷容量のわかる仕様書をご添付ください。

特殊回路として扱う負荷設備の一例

■ 単相100V回路

漏電火災警報器、自動火災報知設備、誘導灯、非常灯、ネオン、ベル、インターフォン、警備保障用通信設備の専用回路

■ 単相200V回路

エアコン、IH、パソコン、EV普通充電器など

■特殊回路(上記以外) ※特殊回路がある場合は別途仕様書を添付ください。

負荷設備	電圧	入力電流	負荷容量(小数点第一位四捨五入)
①	② V	× ③ A	= ④ VA ... ④

- ① 設置される負荷設備をご入力ください。
- ② 電圧をご選択ください。
- ③ 入力電流をご入力ください。
- ④ ②③にご入力いただいた内容から自動計算された数値が表示されます。

入力例：単相200V パソコン
(夜間待機消費電力 12VA)

入力例：単相100V インターフォン(5VA)

負荷設備	電圧	入力電流	負荷容量(小数点第一位四捨五入)
パソコン	200 V	× 0.06 A	= 12 VA ... ④

負荷設備	電圧	入力電流	負荷容量(小数点第一位四捨五入)
インターフォン	100 V	× 0.05 A	= 5 VA ... ④

4.新しいご契約容量をご確認ください

① ①～④合計 = 23110 VA … ④

<容量圧縮> ④の値に係数をかけ容量を圧縮します。

最初の6キロボルトアンペアまで
 6000 VA × 95 % = 5700.000 VA … ①

次の14キロボルトアンペアまで
 14000 VA × 85 % = 11900.000 VA … ②

次の30キロボルトアンペアまで
 3110 VA × 75 % = 2332.500 VA … ③

50キロボルトアンペアをこえる部分につき
 VA × 65 % = VA … ④

①～④合計 = 19932.500 VA = 19.9325 kVA
 ≒ 20 kVA(小数点第一位四捨五入)

③ ◎新しいご契約容量 20 kVA

<契約容量の算定方法について>
 ○回路契約の契約容量は、原則として当資料(契約容量計算書)を用いて計算いたします。
 ○契約容量は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。
 ○各負荷設備の入力換算は電気供給約款別表4(負荷設備の入力換算容量)を準用いたします。

① 一般回路と特殊回路にご入力いただいた負荷容量の合計が表示されます。

② 合計の負荷容量から容量圧縮された算定式が表示されます。

③ 容量圧縮後のご契約容量が表示されます。
表示された新しいご契約容量をご確認いただき、お申込みください。